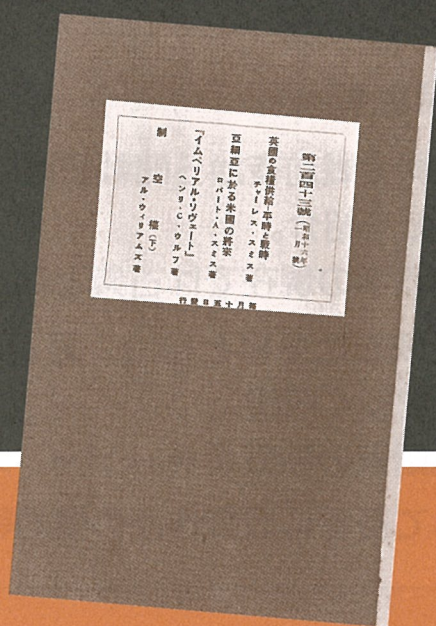


戦時下における

外国文献解説Ⅱ



—『日本読書協会会報』昭和13年11月〜同16年3月— 全十五卷

欧米新刊書籍の詳細かつタイムリーな紹介雑誌。戦争の蹙音が聞こえ出した、第二次世界大戦前夜から開戦初期を復刻。

刊行のことば

近代日本研究家 みやざと たつし
宮里立士

今回『戦時下における外国文献解説Ⅱ』と題し、『日本読書協会会報』の昭和十三年（一九三八）十一月号（第二二七号）から昭和十六年（一九四一）三月号（第二四五号）までの全二十九号を復刻する。そしてこれを第一回配本・第一巻（第八卷）（第二一七号）（第二二三号）、第二回配本・第九巻（第一五巻）（第二三三号）（第二四五号）に分けて刊行する。

『日本読書協会会報』とその発行者である日本読書協会については、前回刊行した『戦時下における外国文献解説』別巻の解説で説明した。そしてその際に日本読書協会が海外（特に英米の）新刊書籍を抄訳し紹介することを目的にした団体であること、また『日本読書協会会報』は、大正十年三月（第一号）に創刊され、昭和十九年三月（第二八一号）まで刊行された会員制の月刊誌であると述べた。しかし、そこでこの『会報』と日本読書協会の内実を伝える資料が不足していることも併せて指摘した。とはいえ、確認できた日本読書協会『入会者名録』（同じく別巻に収録）からは、会員は一〇四三名（個人七八七 法人一五六）。会員には、政財官界及びジャーナリズムの名士が名を列ね、陸海軍、内務省、外務省等の各官署、朝鮮総督府等の植民地官庁、旧制高校等の教育機関も会員であることが解った。会費は年額一二〇円、半年額は六〇円と、当時として高額であり、ここからその購読者層が、当時の日本社会のごく限られた層であったことも窺われた。

第一次世界大戦後の、安定のうちに、「危機」もはらむ時期に創刊された『会報』は、今日的眼で観ると、来るべき大戦を予感させる外国文献の紹介と、同時代の米英を中心とするクオリティの高い文献を精力的に紹介しようとする姿勢が目立っている。特に今回復刻する号の期間には、ドイツ軍のポーランド侵攻で第二次世界大戦が始まり（一九三九年九月）、フランスの降伏（一九四

〇年六月）を間に挟み、戦後一般化したこの大戦を「連合国対枢軸国」という図式にあてはめ、国際社会が対立してゆく様子を浮き彫りとする。それを改めていえば、ヨーロッパでは、大戦前夜に始まり、フランス降伏という、戦争が第一の局面を終え、独ソ戦に突入する次の局面に差しかかる時期である。太平洋・アジア方面においては、「日中戦争」の收拾困難が、日米対決を招き、その打開のために始まり結局、失敗した日米交渉の前段階に当たる。

このような状況を反映し、『日本読書協会会報』も英米事情と並び、ドイツの内情を探索したり（「ミュンヘン休戦」第二二二号、「ヒットラーの十二使徒」第二三八号など）、日米関係、あるいは日本と「支那」に関する論考（「日米関係四十年」第二二〇号、「支那と日本」第二二六号など）や軍事関係や諜報、プロバガンダに関する文献が多く紹介されている（「歐洲列強の軍備」第二二九号、「海戦と巡洋艦」第二三五号、「歐洲の秘密諜報機関」第二四〇号、「制空権上・下」第二四二号・第二四三号など）。また列強を取り巻くヨーロッパ諸地域の事情（「東南歐洲概観」第三三〇号、「バルカン事情」第二四一号など）や、イギリスの最も重要な植民地であるインド独立指導者も紹介するなど（「ガンヂの運動」第二三二号など）、前回復刻した分と同じく多岐に亘っている。

総じていえば、大戦前夜から開戦初期の緊張や切迫する雰囲気伝える文献を紹介している。が、またそれらといささか趣きの違う、今日でも「古典」的地位を占める文献の紹介もいち早く行っている（「全体主義の検討」第二一九号、「都市の文化上・下」、第二三二号、第二三三二号など）。

それらについては個々の解題および第二回配本の解説で改めて説明したい。

今回復刻する昭和十三年十一月号から昭和十六年三月号までは前回の復刻刊行に遡る時期のものであるが、本資料は、戦時下に、当時の為政者、エリート層が、どのような海外の一般文献にリアルタイムで触れえたかを教えるものである。そして彼らが、戦時下にこれらから何を読み取ったかを想像するとき、興味の尽きない資料でもある。

◆本書の特色◆

- 第二次世界大戦前夜から開戦初期にかけての米英を中心としたクオリティの高い文献を紹介。
- 人文社会科学の現在では古典となった文献の日本初の紹介が確認できる。
- 時局を反映した軍事と政治、経済、諜報宣伝などの戦時体制（総力戦）に関する論考を多く収録。
- 全体主義国家の独裁者（ヒトラー、スターリン等）の初期研究の掲載。
- 解題として各巻に収録作品の要約等を収め、最終巻に解説を収録。

本文見本

90%に縮小してあります。

*No 242

H・F・アームストロング著 フランス没落日誌

Hamilton Fish Armstrong. *The Downfall of France.* Foreign Affairs, October 1940.

「パ・ン・ア・メ・リ・カ」カールトン・ピールス著……………一六七

Carleton Beals. *Pan America: A Program for the Western Hemisphere.*

Boston: Houghton Mifflin. 1940.

深澤正策

- 序、三國同盟の成立と米國
- 一、世界の鬭争
 - 二、國力を決定するもの
 - 三、勝利の報酬
 - 四、持たぬ國
 - 五、外側の諸國
 - 六、小國の運命
 - 七、資源と外交政策
 - 八、米國の任務
 - 九、米國の煩悶・帝國主義
 - 一〇、米國の煩悶・孤立主義者
 - 一一、戦争の曳網

- 一二、米國の問題
- 一三、黄金禍の米國
- 一四、物資の自由通行禁止
- 一五、新體制
- 一六、通商のユートピア
- 一七、友好關係の買収
- 一八、過去と現在
- 一九、ルーズヴェルトのカルテル案
- 二〇、西半球政策
- 二一、世界の戰略的資源と米國
- 二二、所期の目標

氏の「フランスの没落」と題する長篇は、ドイツ軍日誌的に詳述したるもの。茲に「フランス没落日誌」及び和蘭に於る戦争については、「外國の新聞と雜報」(紹介者)

サンブールに入り込ませた。これは好い時機のさといふ警報を屢々受けてはゐたけれども、かつた。どちらの國にも内閣の危機があつた

* (上) 『日本讀書協会会報』

昭和十六年三月号 (第二四五号)

* (下) 『日本讀書協会会報』

昭和十五年十二月号 (第二四二号)

戦時下における外国文献解説 II 全15巻

—『日本読書協会会報』昭和13年11月～同16年3月— [編集・解説] 宮里立士 近代日本研究家

●全15巻 揃定価：本体315,000円(本体300,000円) A5判上製 ISBN978-4-8433-3952-7 C3300

●第1回配本 全8巻 揃定価168,000円(本体160,000円) ISBN978-4-8433-3953-4 C3300 既刊・2012年8月刊

- ◆第1巻◆ 日本読書協会会報
昭和13年11月号/12月号(第217号/第218号)
定価21,000円(本体20,000円) ISBN978-4-8433-3955-8
- ◆第2巻◆ 日本読書協会会報
昭和14年1月号/2月号(第219号/第220号)
定価21,000円(本体20,000円) ISBN978-4-8433-3956-5
- ◆第3巻◆ 日本読書協会会報
昭和14年3月号/4月号(第221号/第222号)
定価21,000円(本体20,000円) ISBN978-4-8433-3957-2
- ◆第4巻◆ 日本読書協会会報
昭和14年5月号/6月号(第223号/第224号)
定価21,000円(本体20,000円) ISBN978-4-8433-3958-9
- ◆第5巻◆ 日本読書協会会報
昭和14年7月号/8月号(第225号/第226号)
定価21,000円(本体20,000円) ISBN978-4-8433-3959-6
- ◆第6巻◆ 日本読書協会会報
昭和14年9月号/10月号(第227号/第228号)
定価21,000円(本体20,000円) ISBN978-4-8433-3960-2
- ◆第7巻◆ 日本読書協会会報
昭和14年11月号/12月号(第229号/第230号)
定価21,000円(本体20,000円) ISBN978-4-8433-3961-9
- ◆第8巻◆ 日本読書協会会報
昭和15年1月号/2月号(第231号/第232号)
定価21,000円(本体20,000円) ISBN978-4-8433-3962-6

●第2回配本 全7巻 揃定価147,000円(本体140,000円) ISBN978-4-8433-3954-1 C3300 2012年11月刊行予定

- ◆第9巻◆ 日本読書協会会報
昭和15年3月号/4月号(第233号/第234号)
定価22,500円(本体21,000円) ISBN978-4-8433-3963-3
- ◆第10巻◆ 日本読書協会会報
昭和15年5月号/6月号(第235号/第236号)
定価22,500円(本体21,000円) ISBN978-4-8433-3964-0
- ◆第11巻◆ 日本読書協会会報
昭和15年7月号/8月号(第237号/第238号)
定価22,500円(本体21,000円) ISBN978-4-8433-3965-7
- ◆第12巻◆ 日本読書協会会報
昭和15年9月号/10月号(第239号/第240号)
定価22,500円(本体21,000円) ISBN978-4-8433-3966-4
- ◆第13巻◆ 日本読書協会会報
昭和15年11月号/12月号(第241号/第242号)
定価22,500円(本体21,000円) ISBN978-4-8433-3967-1
- ◆第14巻◆ 日本読書協会会報
昭和16年1月号/2月号(第243号/第244号)
定価22,500円(本体21,000円) ISBN978-4-8433-3968-8
- ◆第15巻◆ 日本読書協会会報
昭和16年3月号(第245号)/解説
定価14,700円(本体14,000円) ISBN978-4-8433-3969-5

戦時下における外国文献解説 全18巻+別巻1

好評発売中 —『日本読書協会会報』昭和16年～同19年— 書誌書目シリーズ87
宮里立士 編集・解説 ●揃定価370,650円(本体353,000円) ISBN978-4-8433-2912-2 C3300



〒101-0047
東京都千代田区内神田2-7-6
TEL .03(5296)0491
FAX.03(5296)0493
http://www.yumani.co.jp/
e-mail eigyou@yumani.co.jp

●特におすすめしたい方●
書誌学、出版文化、日本近代史、日本近代思想史、外交史、メディア史、ジャーナリズム論などの研究者、大学図書館など。

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日		※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。	
ご注文書	戦時下における外国文献解説 II 全15巻		取扱店
	<input type="checkbox"/> 第1回配本・全8巻 揃定価168,000円(本体160,000円) <input type="checkbox"/> 第2回配本・全7巻 揃定価147,000円(本体140,000円)		
お名前			
住所			
	TEL ()		